

3 認知症と高齢者虐待

虐待を受けている高齢者の約8割に何らかの認知症状が見られます。

認知症による言動の混乱（周辺症状）は、介護者の負担の増大やストレスとなり、虐待の要因にもなっています。

認知症とは

●加齢によるもの忘れがひどくなった状態や心の病気と混同されがちですが、脳の細胞が死んでしまったり働きが悪くなったりすることで、生活するうえで支障がでてくる状態のことをいいます。誰にでも起こりうる脳の病気のひとつです。

●早期に専門の医療機関を受診することで、進行を遅らせることが可能な場合があります。

高齢者虐待を防ぐために

1 認知症の正しい理解

認知症を理解することで、認知症高齢者の行動の意味が理解できます。早期受診、適切な支援、地域の理解と見守りが介護負担の軽減につながります。

2 声をかけ合えるご近所づきあい

虐待に関わっている人は誰にも相談できず、孤立しがちです。地域の中で「大丈夫？」「困ってない？」と声をかけ合える関係も大切です。

3 小さな変化に気づく

地域で暮らす身近な人や関係者が、虐待の要因となる小さな変化に気づくことが、虐待を未然に防ぐ第一歩です。

4 もしかしたら……と思ったらまず相談

気になることがあれば、大豊町地域包括支援センターへご相談ください。早目の相談が高齢者の生活を守ります。

「虐待かもしれない……」と感じたら迷わず、問い合わせ先にお掛けください。

ご連絡をいただいた方のお名前が周囲に漏れることはありません。

安心してご連絡ください。

みんなで防ごう 高齢者虐待



「高齢者虐待」とは？

高齢者虐待とは、高齢者の尊厳を侵す深刻な問題ですが、特定の人や家族で起こるものではなく、どこの家庭でも起こりうる身近な問題です。高齢者虐待が起こる要因は様々ですが、介護をしている家族などが心身とも疲労し、精神的に追いつめられ、その結果虐待に至ってしまうというケースも少なくありません。

介護をしている人、介護を受けている高齢者、双方を守るためにも、大豊町地域包括支援センターなどの第三者の介入が必要です。

高齢者虐待を目撃したり、虐待を受けたと思われる高齢者を発見した際は、大豊町地域包括支援センターにご連絡ください。

1 高齢者虐待はどうして起こるの？

高齢者虐待は、様々な要因が重なり合って起こるといわれています。
表面上の行為のみにとらわれず、その背景にある様々な要因を探り、状況を正確に把握することが大切です。



高齢者虐待は身近に起こりうる問題です。

虐待をしている本人が「虐待である」と認識していない場合も多く、また虐待を受けている高齢者も我慢したり、知られたくないなどの思いがあるために発見しにくい場合があります。

「虐待者＝“悪者”」ではありません。

虐待をするに至った背景には、様々な要因が考えられます。誰にも相談できず、虐待者が抱え続けている複雑な問題についても配慮する必要があります。

2 どんなことが「高齢者虐待」にあたるのでしょうか？

1 身体的虐待

高齢者の身体に外傷が生じ、または生じるおそれのある暴力を加えること。

例

- ・言うことを聞いてくれないからと叩いたり、蹴ったりする。
- ・体力向上のために、嫌がる運動を無理矢理させる。
- ・外に出られないようにドアに鍵をかける。



2 心理的虐待

高齢者に対する著しい暴言または著しく拒絶的な対応、その他の著しい心理的外傷となる言動を行うこと。

例

- ・ついイライラして、「さっさと死ね」と言う。
- ・大声を出したり、物に当たったりして高齢者に対し威圧的な態度をとる。
- ・「こんなことも出来ないのか!」と叱責する。

3 経済的虐待

介護者または高齢者の親族が合意なしに高齢者の財産を処分したり、その他当該高齢者から不当に財産上の利益を得たりすること。

例

- ・身内だから大丈夫と高齢者のお金を勝手に使う。
- ・不当に金銭を要求する。
- ・高齢者の合意なしに通帳等を管理し、必要な生活費を渡さない。

4 介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）

高齢者を衰弱させるような著しい減食、長時間の放置、介護者以外の同居人による虐待行為の放置など、養護を著しく怠ること。

例

- ・作ってもあまり食べないからと食事の回数を減らす。
- ・必要な医療や介護サービスを受けさせない。
- ・入浴させずに汚れた状態で放置する。



5 性的虐待

高齢者にわいせつな行為をすることまたは高齢者にわいせつな行為をさせること。

例

- ・嫌がっている高齢者に、わいせつな映像を見せたり、性的な要求をする。
- ・排泄に失敗した罰として下半身を裸にして放置する。